

平成 26 年度事業報告書の付属明細書

1 精神文化の研究及びその成果の公開

(1) 精神文化の研究

ウ 創業者及び研究所関連資料の研究・調査

沿革史資料の整理作業は、データベース登録点数 22,133 点になりました。それとは別に、書簡 13,259 点、葉書 2,800 点まで登録しました。

研究・調査の一環として、次に掲げた各機関等へ出張しました。

出張先	時期
・東急電鉄本社	4月8日
・横浜市中心図書館	4月9日、2月21日
・早稲田大学	4月17日
・東洋大学	6月25日、9月5日
・神奈川県立歴史博物館	6月26日、9月5日、3月17日
・東京都公文書館	6月27日
・防衛省防衛研究所	6月27日
・日本デザインセンター	8月7日
・銀座教会	8月7日
・日本伝統文化振興財団	8月20日
・国立近現代建築資料館	8月23日
・横浜市開港記念会館	8月23日
・横浜市歴史博物館	8月30日
・神奈川県立図書館	10月16日
・新聞ライブラリー	10月16日
・横浜都市発展記念館	10月16日
・西方寺	10月27日
・愛知大学	12月9日～12月10日
・NEC 特許技術センター	1月16日
・霞山会館	1月27日
・国立国会図書館	3月5日

(2) 精神文化研究成果の普及

ア 講演会等の開催

(ア) 大倉山講演会（共催：第 64 回、65 回、66 回及び 68 回は大倉山記念館指定管理者、第 67 回は大倉山秋の芸術祭実行委員会 会場：横浜市大倉山記念館ホール、第 68 回は横浜市大倉山記念館第 10 集会室）

回	開催日	演題	講師	参加人数
第 64 回	4月19日	文芸作品に表れた横浜の近代 —北村初雄のハイカラー—	笠原實	110人

第 65 回	5 月 17 日	有島武郎における近代化 —横浜・札幌・アメリカ・ホイットマン—	小玉晃一	72 人
第 66 回	6 月 21 日	文明開化を生きた歌人 —大熊弁玉—	増田恒男	80 人
第 67 回	10 月 30 日	大倉山記念館とドラマロケ	林宏美	72 人
第 68 回	3 月 14 日	学芸員と博物館と展覧会と —地域の博物館のいまとこれから—	千葉毅	30 人

(イ) 公開講演会 (共催：愛知大学 会場：横浜市大倉山記念館ホール)

回	開催日	演 題	講 師	参加人数
第 12 回	7 月 1 日	国際ビジネスと私達の生活	名和聖高	59 人

(ウ) 港北図書館再開館記念イベント (共催：横浜市港北図書館 会場：港北図書館
会議室)

開催日	演 題	講 師	参加人数
4 月 26 日	港北のみりよく玉手箱 —『わがまち港北 2』と港北まちの情報コーナー—	平井誠二	36 人
5 月 4 日	電車の一生 —東横線の電車が生まれてから引退するまで—	辻村功	50 人
5 月 25 日	「花子とアン」のふるさと —小机が生んだ印刷王・村岡平吉—	峯岸英雄	50 人
7 月 13 日	写真で見る新横浜の五十年	臼井義幸	50 人

イ 資料の展示

(ア) 研究所資料展

回及び開催場所	開催時期	テーマ	入場者数
第 27 回研究所資料展 (図書館入口前・第 1 閲覧室・公開書庫)	7 月 23 日～10 月 18 日 (61 日間)	強く、賢く、親切に —大倉邦彦と富士見幼稚園 20 年のあゆみ—	1,338 人
第 28 回研究所資料展 (図書館入口前・第 1 閲覧室・公開書庫)	10 月 29 日～12 月 26 日 (50 日間)	港北区のシンボル —大倉山記念館の 30 年展—	1,545 人

(イ) 特別資料展 (共催：港北図書館・港北図書館友の会 会場：港北図書館)

開催時期	開催場所	テーマ	入場者数
6 月 4 日～30 日 (26 日間)	港北図書館	昭和のおもしろ消しゴム展 II	—

(ウ) 写真展 (主催：港北図書館、共催：公益財団法人大倉精神文化研究所 会場：港北図書館)

開催時期	開催場所	テーマ	入場者数
4月18日～5月11日(22日間)	港北図書館	懐かしの東横線駅舎 ～港北区内東急東横線各駅とその周辺～	—

(エ) 写真展 (主催：鶴見川流域センター、画像提供：公益財団法人大倉精神文化研究所 会場：鶴見川流域センター)

開催時期	開催場所	テーマ	入場者数
2月1日～2月28日(28日間)	鶴見川流域センター	鶴見川下流・港北区の鶴見川の洪水	—

ウ 印刷物の編集及び発行

(ア) 研究紀要『大倉山論集』第61輯 (A5判 416頁 700部 27年3月刊行)

特集 文芸作品に表れた近代化

特集にあたって

公益財団法人大倉精神文化研究所

小説に表れた教育、試験

茂住實男

文芸作品に表れた横浜の近代

笠原實

—詩人北村初雄のハイカラー—

有島武郎における近代化

小玉晃一

—横浜・札幌・アメリカ・ホイットマン—

文明開化を生きた歌人・大熊弁玉

増田恒男

……神奈川に弁玉といはれし僧ありて

日本近代キリスト教精神側面史

峯岸英雄

—村岡花子と義父・村岡平吉の軌跡—

論説

室町幕府奉公衆荒河氏の基礎的研究

小林輝久彦

遠山金四郎家と上総岩熊村出身者の雇用

岡崎寛徳

「明治天皇御手許書類」の基礎的研究

堀口修

—特に大正期における臨時帝室編修局の調査を中心として—

水谷鉄也年譜

迫内祐司

報告

展示会「図書館の貴重コレクション展」

平井誠二

新刊紹介

明治神宮監修『昭憲皇太后実録』全三冊

齋藤洋子

受贈図書一覧

所報

(イ) 英語版「研究所のしおり」 (A3判二つ折り 2,000部 27年3月発行)

2 地域における歴史・文化の研究及びその普及

(2) 講師派遣

他機関・団体からの依頼講演・講義・シンポジウム

【大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会】

4月25日 八重桜の美しい太尾新道を歩きましょう！

林宏美

【菊名地区センター】

5月11日 ドラマ・映画の舞台は港北区

ーウルトラマンから花子とアンまでー	平井誠二
【明治大学リバティアカデミー】	
6月11日 大倉精神文化研究所と貴重図書	平井誠二
【大豆戸地域ケアプラザ】	
6月25日 あなたの町 伝説と成り立ちを知ろう	平井誠二
【港北ボランティアガイド】	
6月30日 この人がスゴかった！ ～港北の隠れた偉人たち～	平井誠二
【新羽小学校・土曜塾】	
8月9日 和船による鶴見川自然観察	平井誠二
【大倉山南町会「幸齢の会みなみ」】	
9月22日 地域を知ろう！ー大倉山昔ばなしー	平井誠二
【港北区役所】	
9月27日 シンポジウム「港北区のまちと新横浜駅開業50周年」 パネリスト	林宏美
【港北区生涯学級「紙芝居で地域の魅力発信」】	
9月29日 地域を知る、昔話を知る	平井誠二
【太尾小学校（6年2組）】	
10月3日 和船について学ぶ	平井誠二
【大豆戸小学校（6年）】	
11月11日 樽町杉山神社について	平井誠二
【港北区役所（港北区新任副校長研修）】	
11月28日 港北区の歴史・地域性について	平井誠二
【柿生郷土史料館】	
1月18日 「花子とアン」と横浜	平井誠二
【神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター】	
1月31日 横浜近郊の発展	平井誠二
【川崎市教育委員会生涯学習部】	
2月17日 鶴見川流域の地名～港北区域を中心として～	平井誠二
【川崎市中原市民館】	
2月18日 海軍気象部と横浜大空襲～戦時中の大倉山	林宏美
【篠原城と緑を守る会】	
2月19日 鶴見川流域の鉄文化II コーディネーター	平井誠二
【セカンドリーグ神奈川】	
2月23日 大倉山のいま・みらい	平井誠二
【こうほく区民施設協会】	
3月15日 綱島温泉駅と桃源郷誕生秘話 ースイーツと古写真でたどる綱島の名所旧跡散歩ー	平井誠二

(3) 依頼原稿の執筆

『楽・遊・学』港北区区民活動支援センター情報紙、連載「シリーズわがまち港北」に執筆。

第 184 回 (4 月 1 日) 「悲劇の横綱 武蔵山—その 2—」	林宏美
第 185 回 (5 月 1 日) 「大倉山地区—地域の成り立ち、その 1—」	平井誠二
第 186 回 (6 月 1 日) 「菊名池」	平井誠二
第 187 回 (7 月 1 日) 「大曽根地区—地域の成り立ち、その 2—」	平井誠二
第 188 回 (8 月 1 日) 「日吉台地下壕の現在・過去・未来—終戦秘話その 17—」	林宏美
第 189 回 (9 月 1 日) 「日誌が語る日吉の連合艦隊司令部—終戦秘話その 18—」	林宏美
第 190 回 (10 月 1 日) 「新幹線と第三京浜—港北区域の変貌—」	平井誠二
第 191 回 (11 月 1 日) 「後日談いろいろ—その 4—」	平井誠二
第 192 回 (12 月 1 日) 「菊名地区 (1) —地域の成り立ち、その 3—」	平井誠二
第 193 回 (1 月 1 日) 「菊名地区 (2) —地域の成り立ち、その 4—」	平井誠二
第 194 回 (2 月 1 日) 「篠原地区—地域の成り立ち、その 5—」	平井誠二
第 195 回 (3 月 1 日) 「港北区ゆかりの俳人—秋元不死男—」	林宏美
『専門図書館』第 266 号 (7 月 25 日)、専門図書館協議会 「形式は信念の具象である—精神文化図書館の建設—」	平井誠二
『本の虫』第 5 号 (10 月 10 日)、港北図書館友の会情報紙 「若き日のアンパンマン」	平井誠二
『かながわ』第 520 号 (11 月 25 日) 公益社団法人神奈川法人会機関誌 「「花子とアン」と横浜—バイブルの村岡さん—」	平井誠二

(4) 調査協力

大倉精神文化研究所や大倉山記念館、港北区に関する記事執筆の調査に協力し、その結果、次の雑誌・新聞・ウェブ等に掲載されました。

- ・『日本経済新聞』 4 月 11 日、7 月 11 日
- ・『タウンニュース』港北区版 5 月 8 日、6 月 19 日、7 月 10 日、7 月 17 日、8 月 28 日
- ・『週刊仏教タイムス』 6 月 12 日
- ・『神奈川新聞』 6 月 17 日、7 月 8 日、9 月 28 日
- ・『クリスチャン新聞』 6 月 29 日
- ・『朝日新聞』 8 月 13 日、10 月 29 日
- ・『読売新聞』 10 月 17 日

(5) 見学案内

- ・神奈川県建築士会中支部 5 月 27 日
- ・神奈川県立神奈川総合高等学校 7 月 15 日
- ・港北区民ミュージカル 9 月 20 日
- ・品川史跡めぐりの会 2 月 17 日

- ・ 横浜西区郷土史研究会 2月21日
- ・ 横浜市まちづくりセンター 2月22日
- ・ 専門図書館協議会 2月25日
- ・ 港北区役所 2月27日

3 附属図書館の運営及び図書資料の整備・充実等

(1) 図書館の運営

【26年度図書館利用の実績】

開館日数	入館者数	開架図書貸出冊数	閉架図書閲覧冊数	複写枚数
243日	7,002人	6,252冊	283冊	719枚

※日本精神文化曼荼羅修復の予備日として5月7日、公開書庫の床材張替工事の準備・後片付けのため、6月14日・17日を臨時休館。

- ・ 蔵書検索アクセス数：221,273件
- ・ 図書館貸出カード登録者数：317人（累計651人）
- ・ レファレンス件数：57件

【26年度受入図書実績】

蔵書冊数	閉架図書		開架図書	
	購入	寄贈	購入	寄贈
963冊	309冊	654冊	1,120冊	862冊
				258冊

- ・ 26年度末の蔵書の現況：図書・AV資料総数：102,488冊・点
(閉架書庫80,991冊・AV資料193点・開架図書21,304冊)
- ・ 旧分類による和・洋書の再整理状況：204冊（累計47,126冊）

(4) 図書館のPR

ア ホームページの活用その他

- ① 「図書館パンフレット」作成・配布
配布先：館内・大倉山駅構内・見学会・関係団体
- ② ホームページの適宜更新、研究所ツイッター開始に伴い図書館情報を随時更新
- ③ 図書館見学会受け入れ
神奈川総合高校見学会 7月15日(火) 11人
専門図書館協議会 2月25日(水) 22人
- ④ jcrossウェブサイト(ブレインテック運営)に当館貸出カード、ホームページリンク、しおり(ブックマーク)の紹介
・ 貸出カードの紹介 <http://www.jcross.com/collection/cat-4/a5a5b3i1c4-01.html>
・ しおりの紹介 <http://www.jcross.com/collection/cat-5/a5a5b3i1c4-01.html>
- ⑤ 日本最大の図書館検索サイト「カーリル」に当館情報を紹介
- ⑥ 『News Letter』Vol.23 No.4 通巻132号(2014年8月15日 ブレインテック発行)にて図書館紹介記事掲載(「こんにちはブレインテックです」第75回)
- ⑦ 『専門図書館』270号(平成27年3月25日 専門図書館協議会発行)に図書館紹介記事を執筆(「特集 思想・宗教と専門図書館」)

- ・4月26日～10月31日 鶴見川スタンプラリーに協力
- ・11月29日 港北区オープヘリテージ参加 20時まで公開
- ・3月1日 大倉山観梅会に伴い臨時開館

イ 収蔵資料の紹介展示

- ・資料展（館内展示ケース）

	タイトル	期 間	入 場 者 数
第12回	大倉精神文化研究所 研究員の著作紹介 —大倉山論集執筆者を中心に—	4月15日～7月19日	1,442人
第13回	大倉邦彦の人脈交流Ⅰ 『神典』編纂の時代・今泉定助	1月20日～2月28日	1,244人
第14回	貴重コレクションを探るシリーズⅠ 『旧制高等学校文庫』	3月4日～3月31日	718人

- ・ミニ展示（館内ブックトラック、貸出カウンター横テーブル）

タイトル	期 間	入 場 者 数
バクの流域ワンダーランド・スタンプラリー応援選書	4月26日～10月31日	2,919人
期間限定・ブックセレクション 『江戸から幕末、明治の洋学』	8月1日～10月11日	1,078人
期間限定・ブックセレクション 『図書館ワークショップに向けて —装丁・製本・ブックカバー』	10月15日～12月20日	1,692人
期間限定・ブックセレクション 『二宮尊徳』	12月5日～1月15日	498人
期間限定・ブックセレクション 『神道』	1月20日～3月7日	1,553人

- ・館外展示（館外展示ケース）

内 容	期 間
バクの流域ワンダーランド・スタンプラリー応援展示 鶴見川にまつわる当館資料のご紹介	4月26日～10月31日
第13回 図書館資料紹介 大倉邦彦の人脈交流Ⅰ 『神典』編纂の時代・今泉定助	1月20日～2月28日
第14回 図書館資料紹介 貴重コレクションを探るシリーズⅠ 『旧制高等学校文庫』	3月4日～3月31日

- ・大倉山講演会関連資料展示（館内ブックトラック）

内 容	期 間	入 場 者 数
4月19日の大倉山講演会関連選書 『文芸作品に表れた横浜の近代』 —北村初雄のハイカラー—	4月17日～4月26日	235人
5月17日の大倉山講演会関連選書 『有島武郎における近代化』	5月15日～5月31日	340人
6月21日の大倉山講演会関連選書 『文明開化を生きた歌人』—大熊弁玉—	6月18日～7月11日	361人